

小林公民館主催事業

「夏休み！航空科学博物館見学」

実施日：8月26日（日） 参加者：計8名

千葉県北西部が最高気温36℃の猛烈な暑さを記録する中、「夏休み！航空科学博物館見学」を開催しました。

この日は、市バスで小林コミュニティプラザから山武郡芝山町にある博物館に移動しました。あまり見慣れない大きなバスに乗り込み、子ども達は早くも遠足気分になっている様子でした。



航空科学博物館に到着すると、屋外のいたるところに、飛行機、ヘリコプターが展示され、それを見つけた子ども達は、大はしゃぎ。しかし、本日はあまりの暑さのため、屋外にある展示物の見学は控えていただくことにしました。ガイドをしてくださった博物館職員の方から、さまざま

な展示物の説明をしていただきました。子ども達も、保護者の方たちも、とても熱心に説明に耳を傾けていました。

未就学児から小学生までを対象とした見学会でした。少し難しい内容もありましたが、科学に興味を持ってもらうきっかけになればよいと思います。



☆ 成田空港の秘密 ☆

飛行機を飛ばすには、とても多くの燃料が必要で、その燃料を空港で保管すると、**空港は燃料保管倉庫でいっぱい**になってしまう程です。そのため、他所の空港は、燃料を積んだタンカーからすぐ運べるように、海の近くに空港を造ることが多いようです。では、近くに海のない成田空港は、どのようにしてこの問題を解決しているのでしょうか。なんと**千葉港から成田空港まで長いパイプを引いて燃料を確保している**とのこと。そんなに長いパイプをつくるなんて、とても驚きですね。